

## 令和元年度 第1回瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会議事録

日 時：令和元年6月4日（火）9時～10時20分

会 場：瑞浪市化石博物館レクチャールーム

出席者 <協議会委員> 柴田 増三（社会教育関係者）

島村 節男（学識経験を有するもの）

間宮 弘一（学校教育関係者）

市之瀬 肇（学識経験を有するもの）

<事務局> 和田 光浩（館長）、柄澤 宏明・和田慶一郎（事務局員）

欠席者 <協議会委員> 西尾 京子（家庭教育の向上に資する有するもの）

### 1 委嘱状交付、2 あいさつ

館長より、人事異動により新任された間宮委員に委嘱状を交付した。

その後、柴田会長及び和田館長が挨拶を行った（内容は省略）。

### 3 報告事項

平成30年度の事業・寄付等について、資料を用いて報告した。

事務局：普及活動については、4月に社会教育課より全戸配布された「生涯学習ガイドブック」からの申し込みや「ちゃわんや瑞浪」での展示もいい方向に働いたと考えます。

**質疑・意見等**

特になし。

### 4 協議事項

1) 令和元年度の事業計画について、資料を用いて審議した。

**質疑・意見等**

#### ・第33回企画展について

委 員：平尾作品企画展は年度をまたいで開催するということが、予算は平成31年度分で実施するということか。令和2年度は、秋にも企画展は開催する見込みか。

事務局：予算は平成31年度分となります。本年度の当初予算は企画展1回分であるため、12月の補正予算の計上を考えています。絵画を保護するアクリル板の費用も計上する見込みです。令和2年度は、秋にも企画展を考えています。

委 員：早めに予算を確保するため、9月補正を検討してはどうか。

事務局：秋季の伊村作品企画展の予算残額を見極める必要があるため、12月補正が好ましいと考えます。

委 員：承知した。ただし早めに見積もりを取るなど、準備は速めに進めてほしい。

#### ・寄贈作品の保管について

委 員：寄贈作品の保管状況はどうなっているか。

事務局：日本画は、温度管理の可能な化石博物館内に保管しています。しかし、化石博物館の保管場所も不足しているため、早く新しい博物館を整備し、温度と

湿度管理を行って保管することが望ましいと考えます。

#### ・空調設備の老朽化について

委員：現在の機器の修繕が困難とはどういうことか。

事務局：現在の機器は平成3年度に設置したもので部品の調達等が極めて困難な状況であり、修繕が不可能となる可能性が高いと思われます。来館者や展示作品に好ましい環境を確保するために修繕の必要性は認めますが、新博物館建設の問題もあり、除却される可能性のある現在の機器を、多額の費用を用いて修繕することは困難な状況です。

委員：空調設備の更新を長期計画に載せるべきだったのではないか。臨時の対応として、家庭用エアコンを取り付けることも検討すべきである。

#### ・展示のPRについて

委員：次回の常設展示に向けて事前にアピールするため、ミニコーナーを設けて作品の説明、経歴、生い立ち等を紹介してはどうか（文書による意見提出）。また「広報みずなみ」に美術館や展示作品の連載をしてはどうか。

事務局：広報広聴係と相談すれば可能であると考えます。現在、化石博物館のコーナーが毎月15日号に半ページ枠取りしてあるので、企画展前はこのスペースを使用し、展示の見所等を掲載できればと思います。新規に枠の確保ができれば、シリーズとして市之瀬委員に原稿を依頼したいと思います。

#### ・小中学校への広報について

委員：小中学校への広報が少ないのではないか。サイエンスワールドを半日見学して、帰りに市民公園のどれか1館というのがパターンになっている。こんな素晴らしいものを子どもに見せる機会が少ないのは、もったいない。今なら、私が校長会で話ができる。また、教員の夏季研修のメニューのひとつとして提案できないかとも考えている。

事務局：校長会等でPRすることを検討します。間宮委員にもご協力をお願いしたいと思います。

#### ・入館者数について

委員：5月の入館者数が多いのは、どうしてか。

事務局：5月に開催するこいのぼり祭に伴い、3日間施設を無料開放しているためです。2月～3月についても、天気がよく雪が降らなかったこと、インフルエンザが流行しなかったこともあって、前年度より入館者数が多かったものと考えます。

#### ・作品の展示について

委員：寄贈作品の一部については、屋外展示とするのか。

事務局：美術館の池に展示を予定しています。現在、展示台を製作中です。

委員：作品が屋外にあるだけで、芸術に触れる環境づくりとなり、好ましいことである。

委員：天野作品は今後どのように扱うのか。

事務局：一部は日吉等で展示することを検討しています。また、美術館の第2展示室

を天野作品の展示室にしてはどうかと考えています。

委員：具象作品と抽象作品は与えるインパクトに差があるため、別の展示室にしたほうがよい。

委員：いずれにしても、新しい総合的博物館でバランスのよい展示ができるよう構想してもらいたい。また委員としても協力したい。

#### ・作品の説明について

委員：入館者に分かりやすい作品説明ができるようにできないか。彫刻は敷居が高い印象があり、見るだけでは作品の良さが伝わりにくい。

委員：彫刻の展示は、展示室の入口に来ていただくまでが大変である。以前あったビデオ「彫刻のできるまで」の評判がよかったので、大きな画面でなくても良いので展示室に置くことはできないか。

委員：DVDを作り、学校に貸し出ししてはどうか。「彫刻の見方」のビデオを作って、授業に活用したい。

事務局：承知しました。館内での放映、DVD貸出を含めて検討します。

#### ・作品の展示方法について

委員：以前実施していたように、作品に触れられる展示にできないか。安全面への配慮は必要であるが。

委員：彫刻は触感の芸術である。触らないと分からないこともある。

委員：作品を後ろから見ることできるように展示してはどうか。

事務局：安全面への配慮から、現在は極力作品に触れることは控えていただいています。ただし入口の作品には触れることができますので、パネルを設置するなど広報に努めます。

#### ・土人形講座の申し込みについて

委員：現在、土雛5名、高砂5名の予約がある。生涯学習ガイドブックが4月に全戸配布されたことによると思われる。

事務局：広報7月1日号にも告知記事を掲載予定ですので、定員に達すると思われる。